

為替・預金

証券講座プロジェクト

平成 18 年度 経済学部 現代 GP 連携事業

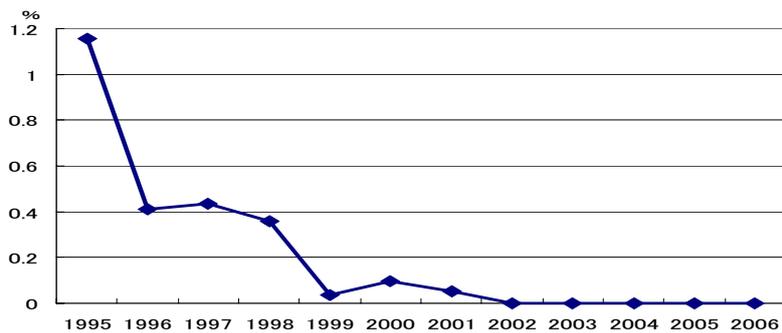
短期金利・長期金利

- 短期金利
 - 1年以内(1日から数ヶ月)
 - 金融機関同士のやり取りで使用
 - 金融政策によってコントロール
- 長期金利
 - 1年以上
 - 10年物国債の利回りが指標
 - 住宅ローンや企業の借入金に影響

短期金利

- 無担保コールレートが代表的
- 金融機関の間で短期の資金の貸借の際につく金利

コールレートの推移



金利の変動要因

- 1、ファンダメンタルズ(経済の基礎的諸条件)
 - 国内・国際景気の動向
 - 物価
 - 資金需給
 - 金融・財政政策(日銀政策、FOMC)
- 2、テクニカル要因
 - テクニカル分析

ローンの借入・返済方式

- 借入方式
 - 通常の借入方式
 - リボルビング方式
- 返済方式
 - 元利均等方式
 - 元金均等方式
- 適用金利
 - 固定金利
 - 変動金利



ローンの種類

	特徴	借入限度(万円)	借入期間	金利	取り扱い 金融機関
教育ローン	子どもの教育費に制限	無担保: 10~300 有担保:5000	無担保: 5,7,10年 有担保: 20,25年	変動 固定	銀行・郵便局・国民生活金融公庫・生命保険会社など
自動車ローン	自動車購入に制限	300~500	5,7年	変動 固定	銀行・信販会社・自動車ディーラーなど
フリーローン	利用の都度審査有	無担保: 10~300	6ヶ月ないし1年以上 最長5~10年	変動 固定	銀行・信用金庫・信用組合など
カードローン	いつでも借入可	無担保: 50以下	1~3年		銀行・信用金庫・信販会社など
消費者金融 専門会社からの借入	無担保・無保証	50または 年収の1割	最長4~5年	年率 20% 台	財務大臣または都道府県知事に登録された消費者金融専門会社

住宅ローン

	借入限度	借入期間	金利	返済
住宅金融 公庫融資	住宅部分の建設費・購入費の80%又は50%	10～35年	固定	元利金等返済・元金均等返済・ボーナス払い併用返済
財形住宅 融資	所要資金の8割／貯蓄残高の10倍／返済額が月収の25%以内になる額／4000万	住宅の種類により異なる	変動	元利金等返済・元金均等返済・ボーナス払い併用返済
銀行ローン	5000万～1億円	30～35年	変動 固定	元利金等返済・元金均等返済
証券化住宅 ローン 『フラット 35』	8000万円以下で 建設費又は購入費の80%以内	15～35年／ 完済時の年齢が80なる までの年数	固定	元利金等返済・元金均等返済・ボーナス払い併用返済

預金の金利

• 流動性預金

(%)

郵便貯金		預金		
通常貯金	通常貯蓄貯金 ※10万円以上	普通預金	貯蓄預金 ※100万円以上	通知預金
0.005	0.01	0.002	0.011	0.001

※平成18年6月19日現在

普通預金に1年間100万円預けた場合の利子は

$$100万円 \times 0.002\% = \text{たったの } \mathbf{20円}$$

• 定期性預金

(%)

	郵便貯金		預金				
	定額貯金	ニュー定期 (1000)	スーパー定期 (300)	大口定期預金	期日指定定期 預金	変動金利定期 預金	積立定期預金
1ヶ月	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-
3ヶ月	-		0.021	0.21			
6ヶ月	0.02		0.024	0.024			
1年	0.06	0.08	0.086	0.087	0.078	0.029	0.05
1年6ヶ月	0.07		0.134	0.2			
2年	0.1	0.13	0.134	0.2	0.126	0.04	0.052
2年6ヶ月	0.12		0.209	0.304			
3年	-	0.2	0.209	0.304	0.134	0.056	0.091
4年	-	0.2	0.216	0.0307			
5年	-	-	0.317	0.411	-	-	0.094
6年	-	-	0.322	0.44			
7年	-	-	0.368	0.51			
10年	-	-	0.487	0.63			

※平成18年6月19日現在

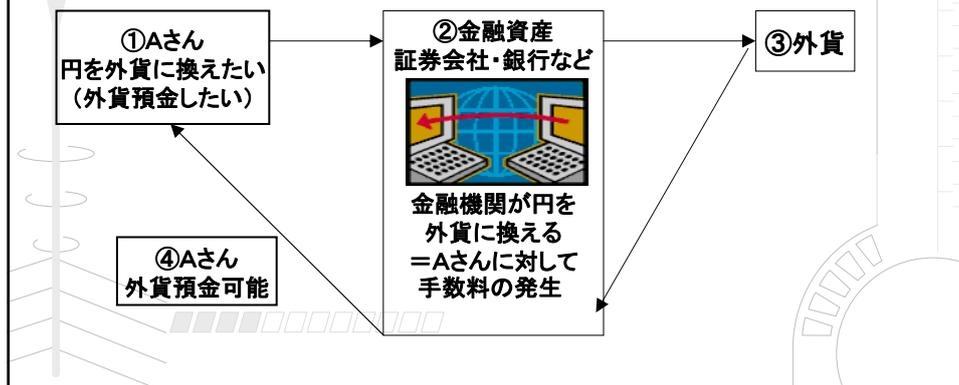
外貨預金とは？

- 日本円以外の外貨(米ドル、ユーロなど)を預金元本とする外貨建ての預金のこと
- 円で外貨を買って外貨預金を作ること
- 外貨のキャッシュそのものを預けること

為替レートの影響を大きく受ける

外貨預金の仕組み

自国の通貨を外国通貨に交換して預金するもの



定期預金金利

•みずほ銀行の例

(%)

	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
米ドル	3.590	3.670	3.770	3.880	3.940
英ポンド	2.750	2.780	2.480	2.920	3.120
ユーロ	1.130	1.160	1.330	1.520	1.790
豪ドル	3.830	3.840	3.950	4.060	4.230
NZドル	5.320	5.330	5.400	5.430	5.480
スイスフラン	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010

※6月30日現在

外国為替リスク

- 外貨建て商品を購入した場合は考慮する必要がある
- 為替レート次第で損失を被ることがある
 - 円安→利益の増大
 - 円高→利益の減少、損失の発生

外貨預金における為替変動

1\$=110 円の時100万円をドル建て預金で年利5%で1年間運用した場合の、一年後のキャッシュフロー

為替変動がなかった場合⇒1,050,000円

1\$= 円高	円	1\$= 円安	円
98	935,455	112	1,069,091
100	954,545	114	1,088,182
102	973,636	116	1,107,273
104	992,727	118	1,126,364
106	1,011,818	120	1,145,455
108	1,030,909	122	1,164,546

円安・円高とは

- ドルに対して円の価値の増減
 - 円安とはドルに対して円の価値の減少
1ドル=110円→120円
 - 円高とはドルに対して円の価値が上昇
1ドル=110円→100円

外国為替市場

- ネットワーク全体のことで取引所は存在しない
- インターバンク市場
 - 銀行等の金融機関の決済市場
- 市場対顧客市場
 - 個人や機関投資家などとインターバンク市場との取引で形成

外国為替市場の特徴

- 世界各地で24時間取引される
 - 東京—LD—NYのように世界中で取引
 - 絶えず変動
- 流動性の高さ
 - 1日平均1兆3000億ドルが取引
 - 相対取引だが市場参加者が多い
 - 取引したいときに売買しやすい

各国通貨の特徴

取引量	通貨	特徴
1	米ドル	国内の財政や軍事などの出来事を中心に値動き 金価格と逆相関の相場を描くことが多い
2	ユーロ	ドル、円に大きく影響を受ける ドル安の際の逃避通貨として利用されやすい
3	円	米国経済の影響を受けやすい。 米国の金利などにたいして敏感に反応
4	ポンド	高金利。流動性が低いため値動きが激しい
5	スイスフラン	政治的中立性から、伝統的に安全な通貨 戦争等の有事に安全な避難先通貨
6	NZ・豪・ カナダドル	資源などのコモディティー通貨として取引 原材料価格に影響を受ける

為替の変動要因

- 金利の動向
- 地域紛争・戦争・テロ
 - 同時多発テロ・イラク戦争
- 要人発言
 - 金融当局者・各国首脳
- 貿易収支

参考URL

- マネー情報 知るぽると:金融広報中央委員会ホームページ
<http://www.shiruporuto.jp/index.html>
- 日本銀行ホームページ
<http://www.boj.or.jp/type/exp/seisaku/expchokinri.htm>
- Yahoo! ファイナンス
<http://quote.yahoo.co.jp/>
- みずほ銀行ホームページ
<http://www.mizuhobank.co.jp/>